

イノシシやニホンザル、ハクビシ
ン、カラスなど、人が育てた作物を
食べてしまう動物がいます。

特にイノシシは、一度に4〜5頭
の子を産むなど数が増えやすく、1
年間の捕獲数はここ10年間に約20倍
にもなりました。水田に入らないよ

うに電気柵を作ったり、わなを仕掛
けて捕まえたり、農業被害を減らす
ために、さまざまな工夫をしていま
す。

15日 生態学ふいイベント

ねいの里では、人と動物の間で起
こっている問題や被害対策について
紹介しており、はく製などで動物の
大きさを確認でき
ます。15日にはイ



右の写真はイノシシ。下は大勢
の人でにぎわった昨年の行事



ベント「冬の生き
物観察と動物の恵
みに感謝」を行いま
す。イノシシや
ニホンジカなどの
生活の様子や体の
仕組みを学ぶと共
に、肉を味わって
もらいます。意外
な発見があるかも
しれませんよ。是非、参加してくだ
さい。(間宮寿頼)